「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまから はじめよう」からのバトンを渡す、新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

福島県立博物館文化観光拠点施設機能強化事業
三の丸からプロジェクト

福島県立博物館

福島県立博物館では、福島県立博物館を拠点に会津の歴史文化を楽しんでいただく文化観光事業「三の丸からプロジェクト」を令和２年度から行っています。会津の文化のうち「会津の SAMURAI 文化」「若松城（鶴ヶ城）下の商工文化」「雪国の暮らしとものづくり文化」の３つの文化を、若松城三の丸跡に建つ福島県立博物館をスタート地点として関連する現地へと足を運んでいただきながら、会津地域全体で満喫していただこうというものです。

武家文化やものづくりに関する体験型ワークショップや、春と秋に開催している「雪国ものづくりマルシェ」など、３つの文化に関するイベントを福島県立博物館や関連する施設などで年間を通して行っています。

今回は令和４年度に「三の丸からプロジェクト」の一環として整備し令和５年４月８日にリニューアルオープンとなった福島県立博物館部門展示室（民俗）と、同展示室と連携して会津若松市街地の歴史的建造物を会場に行う「若松城下まちなか連携事業2023春」をご紹介します。

ホームページで詳しい情報を公開しています。 会津若松観光ナビ　三の丸からプロジェクト　検索

新　部門展示室（民俗）「雪国の暮らしとものづくり」

展示室に入ると、そこは雪国だった

人々の暮らしに関わる身近な文化を紹介してきた部門展示室（民俗）が、「雪国の暮らしとものづくり」をテーマに、装いを新たに生まれ変わりました。

展示室に一歩足を踏み入れると、そこには雪国が広がります。大型スクリーンに映し出される奥会津の自然やそこに生きる人々の営みが、観る人を雪国へと誘います。厳しい雪に対抗す

るために工夫された道具や、限りある自然素材を利用した編み組細工…。厳しくも豊かな奥会津を生き抜くための知恵が詰まった資料の数々を、映像作品や模型を組み込んだ新しい展示空間でご覧ください。

映像作品「Snow and Lights」

上映時間：約10分

制作：松尾高弘（LUCENT）

●令和５年４月８日（土）より公開

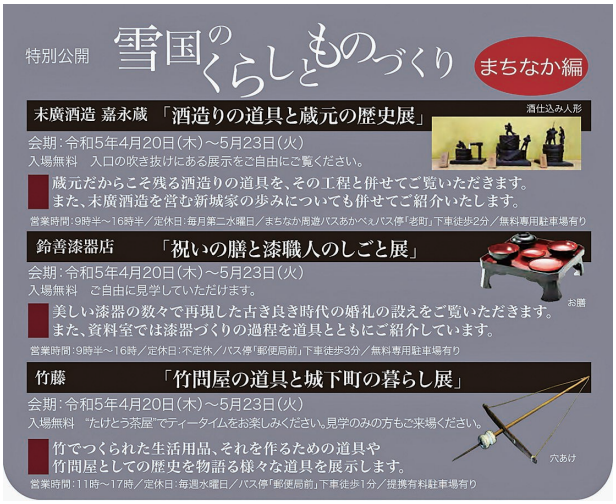
会場：福島県立博物館　部門展示室（民俗）

三の丸からプロジェクト
若松城下まちなか連携事業　2023春
若松城下であじわう
雪国の暮らしとものづくり

会津若松市内の歴史的建造物を会場に、各会場と福島県立博物館が連携し、「会津」をテーマにした展示やイベントを開催している「若松城下まちなか連携事業」。

令和５年度の春は、「雪国の暮らしとものづくり」を共通テーマに、リニューアルした部門展示室（民俗）と若松城下の歴史を伝える３会場との連携展示を行い、展示会場の歴史や魅力、若松城下の人々の暮らしぶりが伝わる資料をご紹介します。

会津の暮らしは雪次第。雪を克服するため、雪を利用するため、人々はまちなかでもさまざまな工夫を凝らして生活を彩ってきました。今回は「雪国」をキーワードに、まちなかの暮らしとものづくりをご紹介します。



県博をスタートにまちを巡りながら歴史的建造物を堪能する

江戸時代の竹問屋の貴重な建物を今に残している竹藤や、幕末から続く会津の蔵元・末廣酒造嘉永蔵、和洋が融合した建築の美しさを伝える鈴善漆器店。それぞれの場の歴史をたたえる建物を堪能しながら、連携企画ならではの展示をお楽しみください。

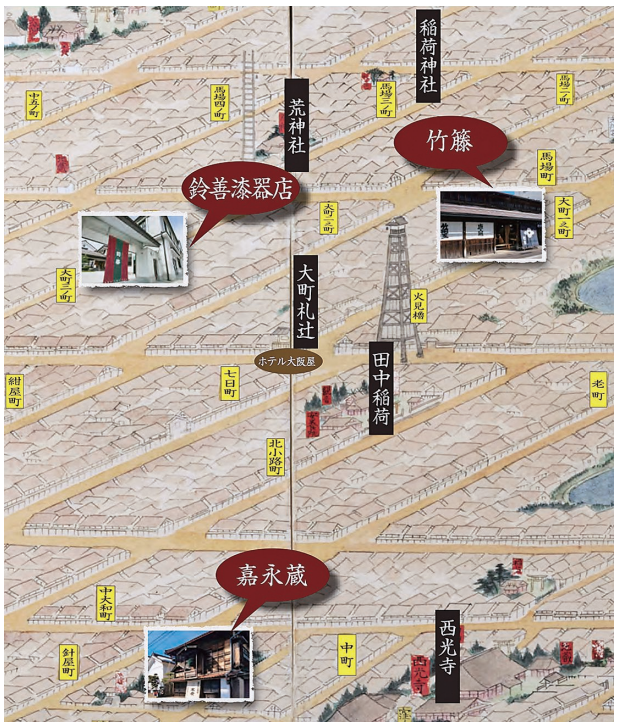
期間：令和５年４月20日（木）～５月23日（火）

会場：福島県立博物館　部門展示室（民俗）

竹藤（国登録有形文化財）

末廣酒造 嘉永蔵（国登録有形文化財）

会津塗伝承館 鈴善漆器店（国登録有形文化財）



大須賀清光筆「若松城下図屏風」（部分）
福島県立博物館蔵

文化観光拠点施設としての福島県立博物館に注目 !!

文化観光の拠点施設となるよう「三の丸からプロジェクト」では、福島県立博物館の施設整備や多様な取り組みを展開しています。

展示室を中心とした多言語化整備で常設展示を英語、中国語（簡体字／繁体字）でもご紹介できるようになりました。

また、旧体験学習室は、いながらにして会津のものづくりを体験し学べるスペース「雪国ものづくり広場　なんだべや」に生まれ変わりました。会津木綿、会津桐、編み組などの会津のものづくりの魅力が凝縮したような空間でくつろいでお過ごしいただけます。今後、イベント会場としてもさらに活躍する予定です。

ティールームは食を通してものづくり文化を体感できる空間に整備し「雪国ものづくり食堂つきない」としてリニューアル。会津塗、会津木綿、会津本郷焼、からむし、編み組などに空間や器で触れていただきます。

今後もさまざまな拠点整備やイベントを開催していきます。新しい福島県立博物館の取り組みにぜひご注目ください。

問い合わせ先
福島県立博物館
電話：0242（28）6000
開館時間：９：30～17：00
（入館は16：30まで）
休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、祝日の翌日
入館料：常設展は一般・大学生280円、高校生以下無料（企画展は別料金。詳細は Web サイトをご確認ください。）